

さるすべり

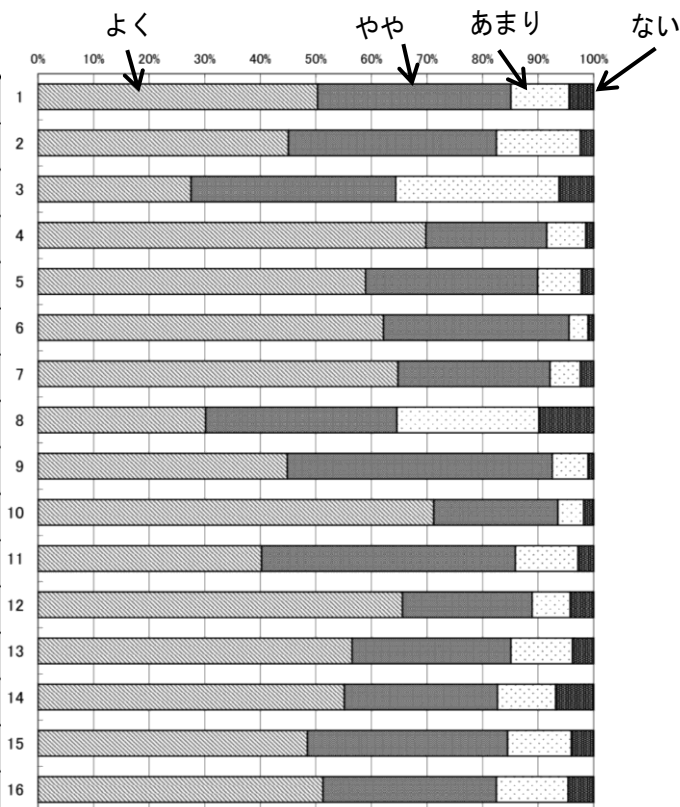
令和7年9月3日 7-7号

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました

7月に実施しました学校評価アンケートで次のような集計結果が出ましたのでお知らせします。

Ⅰ 児童アンケートの結果について

1	学校へ行くことが楽しい。
2	あいさつや返事ができる。
3	自分は学級の中で役立っている。
4	学校の行事(運動会や学習発表会など)は楽しい。
5	児童集会や委員会活動には楽しく参加している。
6	そうじや給食当番の仕事を一生けんめいにやっている。
7	みんなと学ぶことは楽しい。
8	授業では、進んで自分の意見や感想などを発表している。
9	約束やきまりを守っている。
10	交通安全やけがや病気に気をつけている。
11	学級に問題があれば、みんなで協力して解決できる。
12	困ったり悩んだりしたとき、相談できる友達がいる。
13	困ったり悩んだりしたとき、相談できる先生がいる。
14	子ども会や地域の行事に進んで参加している。
15	自分にはよいところがある。
16	家の人と学校のことをよく話す。



児童アンケートの結果を右上のグラフにまとめました。

○ 評価の高い項目

- ・そうじや給食当番の仕事を一生けんめいにやっている。
- ・約束やきまりを守っている。
- ・交通安全やけがや病気に気をつけている。

△ 評価の低い項目

- ・自分は学級の中で役立っている。
- ・授業では、進んで自分の意見や感想などを発表している。
- ・子ども会や地域の行事に進んで参加している。

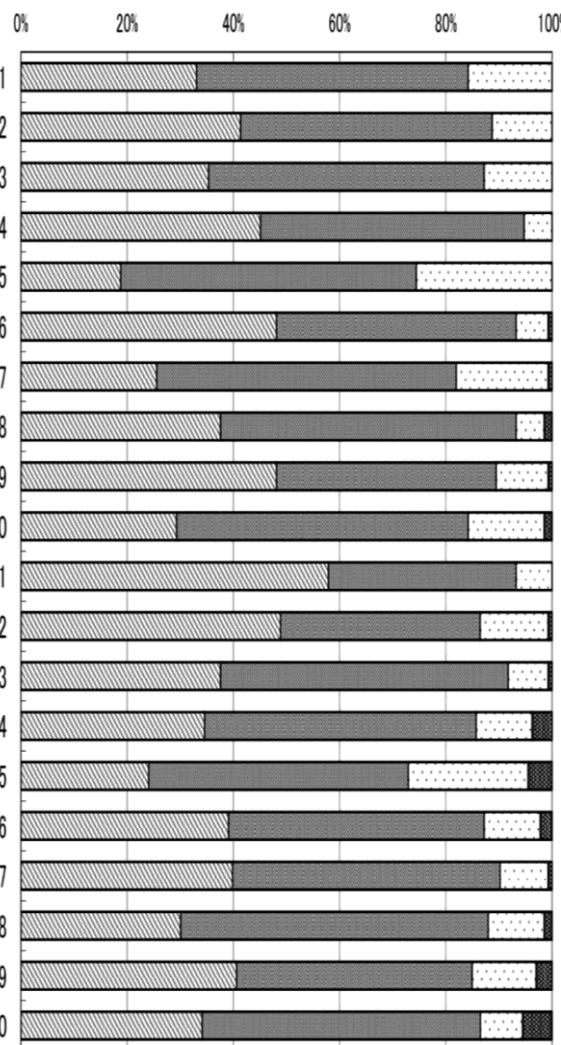
☆ 結果より

評価の高い項目⑥「そうじや給食当番の仕事を一生けんめいにやっている」⑨「約束やきまりを守っている」⑩「交通安全やけがや病気に気をつけている」は、今年度も引き続き高い評価となりました。肯定的な意見が伸びたのは、項目⑫「困ったり悩んだりしたとき、相談できる友達がいる」で、3%高くなりました。友達と良好な関係を築きながら、学校生活を送っていることが分かります。

一方、ここ数年評価が低い項目③「自分は学級の中で役立っている」は、今年度も、低い結果となりました。今年度は、学校保健委員会の「自分や友達の「強み」を探そう！ - ポジティブ心理学の立場から -」を受け、夏休みの課題として、全校で「家族で強ミッケ！」に取り組みました。ご協力ありがとうございました。学校・家庭の両方でこのような活動を継続することで、児童が自分のよさ、強みに目を向け、自己肯定感を高めることができるようにしていきたいと考えます。また、項目⑧「授業では、進んで自分の意見や感想などを発表している」は、昨年度より1%高くなったものの、引き続き低い結果となりました。教員も自分自身の授業を振り返り、子ども同士が学び合う授業ができていないと反省しています。2学期は、教員が互いの授業を見合う研修の機会を設けています。進んで自分の意見が言える児童が増えるように、教員の授業力を高めていきたいと思います。

2 保護者アンケートの結果について

No.	診 断 内 容
1	学校は、教育目標・教育方針を分かりやすく知らせている。
2	学校は、教育活動に関する情報を積極的に伝えている。
3	学校は、地震や風水害や不審者の対応について子どもや保護者に分かりやすく伝えている。
4	学校は、保護者や地域の人たちと接する機会を多く設けている。
5	学校では、PTA活動が活発で充実している。
6	学校の教育活動に、保護者や地域の人たちがボランティアとして積極的に参加している。
7	学校は、施設・設備の充実に努め、それを有効に活用している。
8	学校は、規則や社会のルールを守る態度を育てようとしている。
9	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。
10	子どもは、あいさつや返事ができる。
11	子どもは、運動会や学習発表会などの学校行事を楽しみにし、積極的に参加している。
12	子どもは、みんなと学ぶことは楽しいと言っている。
13	子どもは、学校に信頼できる友達がいると言っている。
14	子どもは、気軽に相談できる先生がいると言っている。
15	子どもは、地域の行事に進んで参加している。
16	先生は、子どものよさを見つけ、認めてくれる。
17	先生は、子どものまちがった行動を適切に指導してくれる。
18	先生は、いじめや問題行動に対して真剣に動いてくれる。
19	あなたは、子どものことについて、気軽に先生に相談できる。
20	あなたは、学校から出される通知表の評価に納得している。



保護者アンケートの結果を右上のグラフにまとめました。

○ 評価の高い項目

- ・学校は、保護者や地域の人たちと接する機会を多く設けている。
- ・学校の教育活動に、保護者や地域の人たちがボランティアとして積極的に参加している。
- ・学校は規則や社会のルールを守る態度を育てようとしている。
- ・子どもは、運動会や学習発表会などの学校行事を楽しみにし、積極的に参加している。

△ 評価の低い項目

- ・学校では、PTA活動が活発で充実している。
- ・子どもは地域の行事に進んで参加している。

☆ 結果より

項目⑧「学校は規則や社会のルールを守る態度を育てようとしている」は、昨年度より5%上がり評価が高い項目に入りました。道路の歩き方や自転車に乗るときのルール、家に帰ってからの遊び方等、校外に出るときや道徳の授業など、学校が機会を捉えて指導していることが評価されたと考えます。今後も、家庭・地域・学校が一体となり、一緒に子どもたちを育てていけるとよいと思います。

また、昨年度まで評価が低かった項目⑭「子どもは、気軽に相談できる先生がいると言っている」項目⑲「あなたは、子どものことについて、気軽に先生に相談できる」は、どちらも昨年度より11%評価が上がりました。子どもと教職員、保護者の皆様と教職員のどちらも安心して相談し合える関係づくりができていることを、大変うれしく思います。

一方、項目⑮「子どもは地域の行事に進んで参加している」は、児童の評価は昨年より上がっていますが、保護者の評価は下がっています。各町内会や東部公民館など、子どもが参加できる活動をいろいろ工夫して機会をつくってくださっています。親子で地域の行事に参加されてみてはいかがでしょうか。また、評価の低い項目⑤「学校では、PTA活動が活発で充実している」は、令和5年度と比べると9%高くなり、少しずつ評価が上がっています。資源回収やベルマーク回収、PTA新聞、校外指導などの活動が皆さんに周知され、ご協力いただいていることに感謝します。